

**【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動書】**  
**奈良市立伏見小学校野外活動支援 活動報告書**

国語教育専修 3回生 川田 大登

1. 実施日 2022年7月1日(金)
  
2. 場所 奈良県立野外活動センター
  
3. 参加者 幼年教育専修4回生 井原 奈佑  
英語教育専修4回生 稲富 麻莉  
英語教育専修3回生 福西 隆生  
家庭科教育専修3回生 宇和谷 紗恵

#### 4. 活動の概要

2022年7月1日に奈良県立野外活動センターにて、奈良市立伏見小学校5年生の野外活動が行われ、その支援を目的として本学ユネスコクラブの学生が参加した。活動支援の具体的な内容は、勾玉づくりの補助、アスレチックの補助、スタンプ指導であった。

#### 5. 参加学生の学び・感想

私はスタンプ班を担当した。野外活動センターの方がキャンプファイヤーで行うスタンプを実践してくれて、子どもたちの様子を見守りながら一緒にスタンプを行った。初対面の子どもたちへの関わりはやはり難しかったが、ゲーム内で「せーのっ!」といった声かけや体を大きく動かしたりして、子どもたちが少しでも楽しめるように働きかけることを心がけた。子どもたちにとっては一生に一度の野外活動を学生という立場から盛り上げ、楽しませられるように今後の野外活動支援でももっと動きたいと思う。

(英語教育専修4回生 稲富 麻莉)

私は勾玉づくり補助を担当した。縦4cm・横4cm・高さ1cm程の大きさの石を目の粗さが異なる3種類の紙やすりで削って形作り、ひもを通すための穴を錐で開けるという作業の説明やアドバイスを一人一人に行った。児童自身で簡単に作る方法を見つけたり、友達にコツを教えてあげたりと協力しながら作成する様子を見て、児童の考える力を育むために、教師がどこまで説明するかを考えなければならないと感じた。また、先生方の対応を見て、美しい勾玉を作ることが目的ではなく、一つのを自身の力で完成させるということが目的であると感じた。時間が限られている中で、誰一人諦めることなく集中して取り組み、目的を達成できていたと考える。

(家庭科教育専修3回生 宇和谷 紗恵)